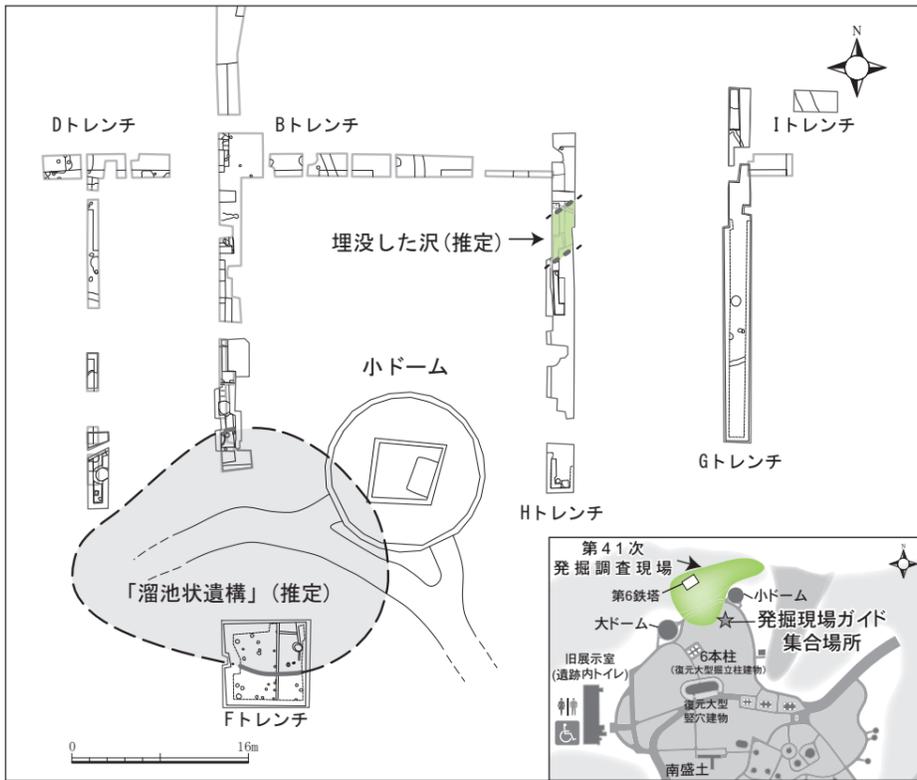


# 三内丸山通信



【第40次(昨年度)発掘調査平面図 第41次(今年度)発掘調査位置図(右下)】

## 今年はどこを 発掘調査するの？

三内丸山遺跡では遺跡全体のすがたや、ムラの移り変わりを把握するため、毎年発掘調査を行っています。

今年度は、昨年度に引き続き遺跡北端部の「溜池状遺構」と埋没した沢(埋められた沢)について調査しています。

## はっくつちようさ 発掘調査を見てみよう！

### はっくつちようさ 第41次発掘調査

す。遺構とは、地面に残る昔の人の痕跡のことです。

現在、埋没した沢の形や、それがどこまで続いていたのかを調べるために、その周辺部分を調査しています。また、「溜池状遺構」と沢がつながると予想される部分かわかればそこを調査する予定です。

「溜池状遺構」と埋没した沢は位置や時期が近いいため、何らかの関係があった可能性

があります。例えば、沢へ流れる水をせき止めて溜池に溜めたり、その水を沢に流したりするなどの役割があったかもしれません。この調査により、水場の利用方法など当時の暮らしについての情報を得ることが出来ます。

「溜池状遺構」と埋没した沢についてなに？

「溜池状遺構」は、水が流れて溜まった溜池のような場所の痕跡です。これは、遺構の土を観察して、砂が混ざっていたり、鉄分が付いていたことなどから分かりました。機能していた年代は、出土土器の年代、土の中に含まれている炭の年代測定から、縄文時代前期終わり頃(今から約5000年前)までと考えられます。

埋没した沢は、縄文時代に埋まった沢で、「溜池状遺構」の北東にあります。沢の底面からは、縄文時代前期終わり頃から中期初め頃(今から約5000〜4800年前)の円筒下層d2式上層a式の土器が多く出土したので、その頃には埋まりはじめた可能性

があります。

## 発掘現場公開・現場ガイド

### 【現場公開日】

毎週月曜日～金曜日

(～9月15日まで(予定))

※土日祝、8月10・14・15日は休み。

雨天時や臨時の休止日は公開を中止する場合があります。

### 【公開時間】

午前9時～正午・午後1時～午後5時

※正午～午後1時はお昼休みのため、公開しておりません。

### 【現場ガイド日時】

現場公開日の午前11時～(約20分)

### 【現場ガイド集合場所】

遺跡内小ドーム(子供の墓)付近

## 発掘調査を 見学しよう!!

発掘調査現場で、遺構や遺物が見つかる瞬間を一緒に味わいませんか？

発掘調査現場は、平日に自由に見学することが出来ます。午前11時から、発掘調査を担当する職員が、20分ほどの「現場ガイド」を行います。見学・公開は9月15日までを予定しています。発掘調査に対する質問などがあれば、お気軽に何でもお聞きください。

三内丸山遺跡のホームページでは「発掘最前線」というコーナーで、調査の様子を毎週更新しています。こちらもぜひチェックしてみてください。

## 企画展開催中

### 遺跡北端部の発掘 — 第四十次調査情報展 —

さんまるミュージアム企画展コーナーでは、9月3日まで、「第四十次調査最新情報展」遺跡北端部の発掘を公開しています。昨年度に実施した、遺跡北端部の発掘調査の成果について、土器や土偶、石器などの出土資料や調査写真のパネルなどを展示しています。三内丸山遺跡の最新の調査成果をぜひご覧ください。





縄文時遊館では、展示室や収蔵庫を整備するため、地上1階、地下1階の建物を増築中です。

地上1階の企画展示室では、これまで展示できなかった他の遺跡の貴重な土器や土偶などの出土資料を展示できるようになります。また、企画展示室に隣接する整理作業室では、窓越しに土器の復元作業等を見学できるほか、地下の収蔵庫では、三内丸山遺跡の土器など、豊富な出土資料を見学でき、実感していただけになります。

## 縄文時遊館増築中！



【完成イメージ 右側の白い建物が増築建物】

今年の秋頃には建物の外観がわかるようになります。一般公開は平成30年11月頃を予定しています。お楽しみに！  
※完成まで施設利用の一部を制限等しておりますので、ご理解、ご協力をお願いします。

## 縄文時遊館リニューアル！

縄文時遊館内の一部をリニューアルし、平成29年3月22日から見学者のみさまにご覧いただいております。リニューアル後の展示室・さんまるミュージアムでは、盛土コーナーの壁面に三内丸山遺跡の代表



【土偶の展示】

的な出土品である土偶を71点も展示し、圧倒的な迫力でお楽しみいただけます。遺跡の出入口にある三内丸山遺跡のジオラマには、道路沿いの環状配石墓を加えるなど、これまでの調査成果を取り入れた最新の情報を盛り込みました。これらのリニューアルにより展示内容が充実し、遺跡や縄文文化についてよりわかりやすく紹介しておりますので、みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

### 今後の予定

縄文体験	土偶のレプリカを作ろう	8月5日(土)
	やってみよう！土器作り(2日コース)	7月15日(土) 9月2日(土)
	ここまでわかった三内丸山遺跡～土坑墓と道路跡～	7月22日(土)
縄文学講座	ここまでわかった三内丸山遺跡～盛土～	8月26日(土)



【遺跡を守ろう①縄文の木を観察してプレートを作ろうの様子】

※縄文体験・縄文学講座へのお申込みは縄文時遊館にお問い合わせください(017-781-6078)。

## イベントのお知らせ

夏休みは、三内丸山遺跡で遊んで、学んで、縄文文化を楽しみませんか？

8月11・12日に「縄文夏祭り」を開催します。縄文時代の暮らしを体感できるイベントや、縄文パノラマビューなどの体験を企画します。

また、9月には「縄文大祭典」を開催し、第41次発掘調査の現地説明会や、お月見コンサートも開催する予定です。

## 三内丸山遺跡で縄文を学ぼう！

縄文時代のもの作りや発掘を体験できる「さんまる縄文体験」を6月から10月まで実施しています。

6月17日には「遺跡を守ろう①縄文の木を観察してプレートを作ろう」を開催しました。参加した皆さんは縄文時代にも生えていて利用されていた木を観察して、自分たちでそれぞれの木のプレート作りを体験しました。

三内丸山遺跡や縄文文化の講義を行う「さんまる縄文学講座」を5月から11月まで実施しています。昨年度に三内丸山遺跡のこれまでの発掘調査等の成果をまとめた「総括報告書」を刊行しており、ここでわかったことを中心に講義を行います。



【縄文パノラマビュー！からの風景】

イベントの詳細は、ホームページやチラシなどでお知らせします。たくさんのご来場お待ちしております。

## 三内丸山縄文春祭り

5月3日から5日まで開催した、三内丸山縄文春祭りには、3日間で1万5000人以上の方にご来場いただきました。どのイベントも例年を上回る大盛況ぶりでした。遺跡内で弓矢など様々な体験に挑戦する「さんまるクエスト」春の三内丸山ムラを探検しよう！や、手作りの土器や土偶を発掘する「発掘ひろば」は、特にたくさんの方々に楽しんでいただきました。



【さんまるクエスト～春の三内丸山ムラを探検しよう！～】



【発掘ひろばで土器を発見！】

体験・講座の詳細い内容はホームページをご覧ください。か、縄文時遊館までお問い合わせください。

## 三内丸山遺跡のご案内

休館日 見学科  
12月30日～1月1日 無料

開館時間  
10月～5月 : 9時～17時  
GW中・6月～9月: 9時～18時  
(入場は閉館の30分前まで)

さんまるミュージアムの定時案内  
10時30分～、13時30分～の2回(所要時間約20分)

ボランティアガイドの定時案内  
1回目は9時15分から  
2回目以降は10時から1時間ごと  
最終回は16時から  
(10月1日以降は15時30分が最終回)  
所要時間: 約50分  
見学お問い合わせ先: 三内丸山応援隊 017-766-8282

交通機関  
□青森市営バス  
JR青森駅から⑥番乗り場 三内丸山遺跡線  
三内丸山遺跡前で下車  
料金310円 約30～40分  
□ねぶたん号  
JR新青森駅東口  
三内丸山遺跡前で下車 料金200円 約15分